

総事業費	156 千円
交付金額	78 千円

地域の実情と課題

●女性ロールモデルの不足

管理職・役員として第一線で活躍している女性が社内にはいないことが課題である。

女性活躍が進んでいない要因・・・女性ロールモデルの不足53.9%

※2018年「女性の活躍推進に関するアンケート調査」
(2018年関西経済連合会・連合大阪、女性従業員の回答)

目的・目標

【目的】

社内にロールモデルや同じ立場の女性社員がいない働く女性がキャリアアップを図るうえで、企業の役員や管理職として活躍する女性ロールモデルや、他の企業で働く女性との交流の機会を創出する必要がある。

【目標】

参加者へのアンケート調査「今後の職業生活に活用できそう」と回答する参加者割合 9割以上
→92.3%で達成

事業の特徴

- 「大阪府男女いきいき表彰」受賞事業者の社員や「大阪サクヤヒメ表彰(大阪商工会議所主催)」の受賞者がロールモデルとして出演するセミナーを実施し、社内にロールモデルや同じ立場の女性社員がいない企業に、他の企業との交流の場を提供した。

連携団体

- 大阪商工会議所
- OSAKA女性活躍推進会議
構成団体：大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、公益財団法人21世紀職業財団(関西事務所)、近畿経済産業局、日本労働組合総連合会大阪府連合会、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム
- 大阪府人材確保会議

事業の効果

役員や管理職として活躍する人から、部下育成やマネジメントのノウハウや、役職者として必要なスキルなどを学ぶことで、キャリアアップへの不安を解消し、役員や管理職をめざす人を増やすことが期待できる。

【効果検証】

- 本事業の参加者アンケート調査で、「満足」「おおむね満足」と回答した参加者割合は97.8%、「今後の職業生活に活用できそう」と回答した参加者割合は92.3%と、いずれも高い評価であった。
- 「男女いきいきプラス認証」事業者数 令和4年度末131社
(令和3年度末108社。対前年23社増)
※目標としていた125社を上回り、女性活躍推進に取り組む企業が着実に増加している。

今後の課題

- 管理的職業従事者に占める女性割合は全国平均を下回っているため、引き続き企業及び女性社員への働きかけが必要。

●ロールモデルに学ぶ！働く女性のキャリアアップ研修（2回）

女性の役員・管理職登用を促進するため
 「大阪府男女いきいき表彰」受賞事業者の社員や
 「大阪サクヤヒメ表彰(大阪商工会議所実施)」の受賞者をロールモデルとして迎え、
 セミナーを実施。
 ロールモデルによるパネルディスカッションや参加者同士のグループワークを通じ、
 女性のキャリアアップと、企業の枠を超えたネットワークづくりを支援。

- 第1回目 11月9日開催
 (参加者112人 うちアーカイブ配信視聴者88人)
- 第2回目 2月7日開催
 (参加者88人 うちアーカイブ配信視聴者59人)

いずれも対面及び後日アーカイブ配信にて実施した。

大阪府 × 大阪商工会議所
 男女いきいき事業者表彰・大阪サクヤヒメ表彰コラボ企画

ロールモデルに学ぶ！ 働く女性のキャリアアップ研修

日時・場所
 2022年 **11月9日** (水)
14:00~16:00 (受付 13:40~)
 ドーンセンター 5階 視聴覚スタジオ

参加費無料
 先着**50名**様
 (申し込み要)

参加対象
 大阪府内在住・在勤の就業中の女性
 (男性職員が占める女性社員、子育て中の女性社員等、
 業種・企業規模・年齢不問)

※ロールモデルは女性として登場

●第1部
 ロールモデルによるパネルディスカッション

●第2部
 グループワーク

申込方法は裏面をご確認ください

大阪府 × 大阪商工会議所

男女いきいき事業者表彰・大阪サクヤヒメ表彰コラボ企画

ロールモデルに学ぶ！ 働く女性のキャリアアップ研修

日時
 令和5年 **2月7日** (火) 14時~16時

場所
 ドーンセンター 5階 視聴覚スタジオ

対象
 大阪府内在住・在勤の就業中の女性
 (男性職員が占める女性社員、子育て中の女性社員等、業種・企業規模・年齢不問)

定員
50名様 (申込要・先着順、詳細は裏面へ)・参加費無料

「大阪府男女いきいき事業者表彰」の受賞事業者の社員や、「大阪府男女いきいき表彰」の受賞者をロールモデルとして迎え、この日の研修を通じてロールモデルによるパネルディスカッションやグループワーク・ライブ・パワースタンスについてお話しします。
 研修終了によるグループワークもあり、働く女性の交流の場としてもご活用いただけます。
 ※ロールモデルは女性として登場

●第1部 (約1時間30分)
 ロールモデルによるパネルディスカッション

●第2部 (約1時間30分)
 グループワーク(筆記用具はお持ちください)